

2018年6月12日

各位

SBS即配サポート株式会社

## 東雲事業所で、蛍光灯の廃棄処理を開始します！

### 一水銀使用製品廃棄物破砕機を導入、オフィスゴミと共に回収処分が可能に一




SBS即配サポート株式会社（社長：鎌田正彦、本社：東京都江東区）の環境事業部は、5月22日、東雲事業所（東京都江東区）内に水銀使用製品廃棄物の破砕機を設置いたしました。これにより、水銀使用製品の適正な廃棄処理が可能となりましたので、お知らせします。



当社環境事業部は、SBSグループにおける「静脈物流」のプロフェッショナル集団として、循環型社会の構築に貢献する様々なサービスをご提供しています。東雲事業所（江東区東雲）と横浜事業所（横浜市金沢区）では産業廃棄物の中間処理施設を運営し、再生原料化から最終処分施設搬入まで行っております。

このたび東雲事業所で導入した設備は、水銀使用製品産業廃棄物（蛍光管、冷陰極蛍光ランプ、HIDランプ）を破砕処理する際に発生する水銀ガスを吸着除去し、大気中への拡散を防止することで環境に配慮した処理が可能です。1日の処理上限は23,400本で、直管形・環形・電球形などあらゆる形状の蛍光灯を安全に処理することができます。

企業様が、オフィスの照明機器をLED照明などに切り替え、それまで使用していた水銀使用製品を廃棄するには、通常のオフィスゴミとは別の専門業者へ依頼する必要があります。当社はこれらを一括で回収することで、企業様の手間と費用を大幅に軽減することが可能になります。

			
<p>水銀含有ばいじんは、機器後方の専用ボックスへ吸引。粉砕したガラスや金具等は、下部のドラム缶で回収しリサイクル。</p>		<p>直管形が約30本収容可能な回収専用ボックス</p>	<p>専用車で他の廃棄物と一括回収することでご担当者様の手間を軽減</p>

本サービスの運用開始は、6月中旬を予定しております。1本からトン単位までの回収処理が可能で、大量に廃棄される場合はお見積りをいたします。蛍光灯の処理にお困りの事業者の皆様は、ぜひお問合せください。ホームページに「蛍光灯破砕機のご紹介」を掲載しておりますので、こちらもお覧下さい。

⇒[http://www.sbs-sokuhaisupport.co.jp/sksp/service/idt\\_waste/fluorescent\\_crusher/](http://www.sbs-sokuhaisupport.co.jp/sksp/service/idt_waste/fluorescent_crusher/)

以上

## ■ご参考

### <SBS即配サポート株式会社概要> (2018年1月1日現在)

本 社：東京都江東区新砂1丁目5番29号

代 表 者：代表取締役社長 鎌田 正彦

設 立：1993（平成5）年3月

親 会 社：SBSホールディングス株式会社（持株比率100%）

資 本 金：1億円

従業員数：616名

拠 点 数：29拠点（本社、即配事業部7、パートナー事業部15、環境事業部2、  
KR事業部5（うち海外1か所）

事業内容：ゼロ・エミッションを目指し産業廃棄物を中間処理する環境事業、企業間の小口荷物を一都三県で集荷・配達する即配事業、特定企業の専属便・スポット便および倉庫を運営するパートナー事業、店舗用什器製品に関する製造および物流事業（KR事業部）

U R L：企業サイト <http://www.sbs-sokuhaisupport.co.jp/>

即配便サイト <http://www.sbs-sokuhai.com/>

### <環境事業部 東雲事業所概要>

所 在 地：〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-31

許 可 番 号：東京都1320014605

処理方法・能力：破碎4.48t/日、粉碎（木くず）4.72t/日、圧縮梱包117.00t/日

産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類、②金属くず、③ガラスくず、コンクリートくず  
及び陶磁器くず、④紙くず、⑤木くず、⑥繊維くず、⑦がれき類

### <環境事業部 横浜事業所概要>

所 在 地：〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-2-5

許 可 番 号：横浜市5620014605

処理方法・能力：破碎421.20t/日、圧縮141.00t/日、溶融1.00t/日、切断10.22t/日

産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類 ②金属くず ③ガラスくず、コンクリートくず  
及び陶磁器くず ④紙くず ⑤木くず ⑥繊維くず ⑦がれき類

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

I R・広報部 TEL：03-3829-2240/e-mail：[contact11@sbs-group.co.jp](mailto:contact11@sbs-group.co.jp)

## ■本サービスに関するお問い合わせ先

SBS即配サポート株式会社 環境事業部 東雲事業所 武藤 覚

TEL：03-3529-0761 FAX：03-3529-0707/e-mail：[muto.satoru@sbs-group.co.jp](mailto:muto.satoru@sbs-group.co.jp)

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。